

# すまいるん

済生会熊本福祉センター通信

**理念** 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

**基本方針** ・利用者主体の福祉を実践します。  
・ライフステージに応じた自立を支援します。  
・地域社会とつながり共に生きる未来をめざします。

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 就労継続支援A型・B型<br>済生会かがやき   | 児童発達支援センター<br>済生会なでしこ園      |
| 就労継続支援B型・生活介護<br>済生会ほほえみ | 幼保連携型 認定こども園<br>済生会しらふじ子ども園 |
| 就労継続支援A型・B型<br>済生会ウイズ    | 相談支援<br>済生会熊本福祉相談支援センター     |
| 共同生活援助<br>済生会グループホーム事業所  | 熊本県地域生活定着支援センター             |

## \*\*\*\*\* 退任のご挨拶 \*\*\*\*\*



森本 成一  
(済生会しらふじ子ども園)

22年間、この済生会しらふじ子ども園で園長を務められて、感謝しかありません。2004年4月に旧法人から引き継ぎ、新園舎建設、定員110名から175名への成長は、皆さんと共に歩んだ証です。

子ども達や職員と一緒にやった花の日、お泊り保育、お祭り、運動会、発表会、スケートなど、数えきれない楽しい思い出を作ってきました。多くの園児と職員の笑顔が、私の宝物です。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



五瀬 浩  
(済生会なでしこ園)

このたび4年間務めた園長職を退任することとなりました。在任中は、職員をはじめ保護者や地域の皆様、関係機関の方々、そして何よりも子どもたちから多くの学びと力をいただきました。子どもたちの成長に寄り添う職員の姿や、子どもたちの笑顔に支えられた日々は、私の人生の中でかけがえのない1ページとなりました。

なでしこ園が今後も地域に愛される園としてますます発展していくこと、そして済生会熊本福祉センターのご繁栄を心より願っています。本当にありがとうございました。

## 済生会熊本福祉センター 利用者(児)満足度調査集計結果 2025年度

回答にご協力して下さった皆様ありがとうございました。  
調査内容としては、◎施設の雰囲気や環境・安全管理について ◎職員の態度・対応について ◎行事活動について ◎給与や工賃等になります。  
各項目への回答と多くのご意見・ご要望をいただきました。以下のグラフは各事業所の総合評価の結果です。

### 済生会かがやき ●31名回答：A型10名回答、B型21名回答

**総合評価** 「非常に満足」「満足」…84%

今年度も、昨年までの満足度調査アンケートの内容を踏襲してアンケートを実施いたしました。回答者については、A型利用者10名、B型利用者21名、計31名の方が回答されました。かがやきの全体評価では非常に満足が61%、満足が23%、普通が16%、不満が0%、という結果でした。かがやきの良いところをいえますか?の問いでは「チームプレイ」という声が聞かれ、かがやき職員のチームワークの良さが評価されていました。今後もかがやきのチームワークで利用者の方が笑顔で作業ができるよう、利用者の方の要望を聞きながら支援していきたいと思えます。

### 済生会ほほえみ ●34名回答：生活介護26名回答、B型8名回答(不明含む)

**総合評価** 「非常に満足」「満足」…68%

B型利用者の「不満」には、環境面だけでなく、「工賃をもう少し上げてほしい。」といった金銭面の意見も見られました。特に「雰囲気が悪い」といった声が複数あったため、どのような点が利用者にとって不快に感じられているのかを把握し、改善につなげていく必要があります。

生活介護では、20%以上の方が「わからない」と回答されましたが、残りの80%以上は「満足」との結果でした。一方でB型と同様に「机が汚れている」「物が多い。」といった環境面の指摘があり、定期的な清掃や不要物品の整理が必要だと感じました。

### 済生会ウイズ ●42名回答：A型19名回答、B型23名回答(不明含む)

**総合評価** 「非常に満足」「満足」…57%

具体的に高く評価された点として、まずは施設環境の向上が挙げられます。クリーニング工場がリニューアルされ利用者の皆様の利便性や満足度に直結していることが伺えます。

また、職員の関わりについても、支援員の利用者一人ひとりに対する対応が丁寧で、適切になされているという前向きな評価を多数いただきました。ハード面での刷新のみならず、日頃の支援員業務におけるソフト面での積み重ねが、利用者様との信頼関係構築に繋がっていることを確認できた形です。一方で、肯定的な回答が半数を超えたものの、まだ改善の余地も残されています。今後は、現在の良好な評価を維持しつつ、今回いただいた貴重なご意見を真摯に受け止め、より細やかなサービス向上を目指します。すべての利用者の皆様に「心から満足」と感じていただけるよう、職員一丸となってより良い施設づくりに邁進してまいります。

### 済生会グループホーム事業所 ●77名回答

**総合評価** 「満足」「やや満足」…70%

満足度調査にて抽出した課題には、職員が常駐しないホーム(巡回は週に2回)にて、「入居者同士の関係性への満足度が低い」、「職員に言いにくいときがある」、「相談後の回答が遅い」などがありました。共同生活におけるルールやマナーを重ねて注意喚起する、施設側がレクリエーションなどを企画し、自然な交流の機会を増やす、トラブルが発生した時は職員が間に入り、状況を把握し、必要に応じて巡回を増やす、話し合いの場を設けるなどの対応を継続して行っていきたく思います。

また「職員に言いにくい」という現状は利用者が問題を解決するうえで大きな障壁となりますので、利用者が困りごとを短く伝えられる一言を促す、気軽に相談できる雰囲気づくりをする、相談を受けた際に回答にかかる時間を提示する、中間報告をするなど不安にならないような対応を心がけたいと思います。今後も継続的な満足度調査を行いグループホームを利用されている利用者さんに安心して過ごしていただけるよう、真摯に改善に取り組んでまいります。

### 済生会なでしこ園 ●43名回答

**総合評価** 「満足」…100%

本年度は、紙面によるアンケート調査からQRコード読み取りによる回答方法に変えたため、集約作業がとても簡便になりました。掲載している円グラフは児童発達支援事業に係る保護者評価(4段階「満足している」「どちらともいえない」「満足していない」「わからない」)を表したもので、「満足している」という回答が100%でした。

主な自由記述として、「本人に合わせた支援をしてもらっており、子どもの成長を感じています。」「家庭での様子も丁寧に聞き取っていただき、感謝しています。」「学童時期の受入れ先として、なでしこ園と同じ支援ができる放デイを作ってほしい。」等の声が寄せられました。

### 済生会しらふじ子ども園 ●111家庭回答

**総合評価** 「良い」「やや良い」…100%

2025年度は、139家庭のうち111家庭回答して頂きました。「良い」「やや良い」の合計が100%という結果でした。

満足度調査の結果としましては、今年度よりカメラマンによる写真撮影・販売等を開始したことで、今まで以上に保護者の方々に「日常の子どもの様子」として、友だちとの遊びの様子や様々な場面で見られる子どもの表情を見て頂くことができ、このような結果に繋がっていると思います。

今後も保護者の方々へ子どもたちの日常の様子をお伝えしていき、安心して預けて頂けるような子ども園にしていきたいと思えます。

### 済生会熊本福祉相談支援センター ●54名回答

**総合評価** 「良い」「やや良い」…89%

ご契約者441名の中から無作為に抽出した100名の方を対象に、アンケート調査を実施しました。郵送とオンラインを併用した結果、54名の方からご回答をいただきました。

総合評価では「良い」「やや良い」が89%を占め、「やや悪い」「悪い」は2%という結果でした。「丁寧な対応」「わかりやすい説明」「話しやすい」については90%台と高い評価をいただきました。一方で、「すばやい対応」「情報提供」は80%台にとどまり、改善の余地があることがわかりました。

自由記述では、「複雑で変更の多い福祉サービス分野だが、わかりやすく伝えてもらえてありがたい」「現状の生活調整だけでなく、将来の選択肢についても話し合える機会がほしい」など、多くの貴重なご意見をいただきました。今後も、一人ひとりのご相談内容やニーズに合わせた支援を行い、より質の高い相談支援を目指して取り組んでまいります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

### 熊本県地域生活定着支援センター ●20名回答

**総合評価** 「良い」「やや良い」…95%

2025年10月に利用者満足度調査を行いました。今年度は支援対象者のうち48名の方に調査票をお送りし、20名の方にご回答いただきました。昨年と比べると、20代～80代と幅広い年齢層の方にご回答いただき、センターの支援におおむね満足いただけておりますが、訪問頻度についてご不安に思われている方が一定数いらっしゃいました。皆様から頂いたご意見をセンター運営の改善につなげ、支援対象者の皆様が刑務所出所後、地域で安心して暮らしていけるよう、関係機関と連携して取り組んでまいります。

済生会かがやき

熊本  
西区役所にて  
パンの販売をはじめました!!

●日時:2月～ ●場所:熊本西区役所  
かがやきのカフェteamでは、2月より熊本西区役所にてパンの移動販売をはじめました。現在、毎週水曜日の12:00から13:00まで販売を行っております。済生会熊本病院のベーカリー&カフェオーブの人気パンを15種類ほど揃えて皆様をお待ちしております。今後は熊本南区役所での移動販売も予定しております。それぞれの区役所でおいしいパンと利用者の方の笑顔で皆様をお待ちしております。  
(尚、今後は移動販売の曜日が変更になる場合もありますのでご了承くださいませ) Report/齊藤 さなえ



済生会ほほえみ

地域感謝DAY

●日時:3月14日(土)  
●場所:済生会熊本福祉センター(内田施設)

3/14(土)、好天に恵まれ、今年もパン工房ふわりの毎年恒例となっている、「地域感謝DAY」を開催することができました。当日は地域の皆様や利用者さんのご家族など、多くの方々が内田町まで足を運んでくださいました。利用者さんの「これ僕が作りました!いかがでしょうか」と誇らしげに自信作のパンを紹介する姿が見られました。「あら、じゃあ買ってみようかな」と笑顔で応えてくださるお客さんも多く、心温まる交流が広がりました。職員にとっても嬉しい光景が見られ、利用者さんの成長を実感する一日となりました。短い時間ではありましたが、訪れた方々と親睦を深めることができ、地域とのつながりを再確認する大変有意義な時間となりました。  
Report/福本 菜々香



済生会ウイズ

『バーコード管理システム』導入

ウイズ クリーニング部門では、このたび新たにバーコード管理システムを導入いたしました。従来は手作業で品物の数量をカウントしていましたが、バーコード化により自動でカウントが可能となり、現場の作業負担軽減に大きく貢献しています。導入直後は「難しそう」「慣れるまで時間がかかりそう」との声もありましたが、運用開始から約2か月が経ち、「慣れてしまえば手カウントより早い」「ピッと読み取るだけなので楽になった」といった前向きな声が多く聞かれるようになりました。ウイズ クリーニング部門は、今後も成長を止めることなく、より良いサービスの提供に努めてまいります。引き続き、皆さまのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。  
Report/金崎 圭将



済生会グループホーム

訪問歯科検診の実施

●日時:3月13日(金)・17日(火)・31日(火)  
歯の健康は全身の健康と関連しています。利用されている方の高齢化に伴い、支援の必要性は増大していますが、詳細な口腔内の把握ができていない現状があります。口腔ケアが不十分だと誤嚥性肺炎や栄養状態の悪化につながりますので、日頃の支援が必要です。今回利用者のみなさんがより良い口腔ケアを受けられるよう、緒方訪問歯科と連携し、歯科医師や歯科衛生士による専門的な検診を実施しました。症状がなくても思った以上に口腔内の健康が侵されている方が多く見受けられました。検診で口腔内の状態を正確に把握できたことで、今後はそれぞれの利用されている方に合わせた最適な治療やメンテナンスの計画に取り組んでいければと考えています。Report/久山 美穂子



済生会なでしこ園

卒園式

●日時:3月28日(土)

3月28日、なでしこ園では7名のお友だちが卒園の日を迎えました。当日は地域の方々をはじめ、9名のご来賓にご出席いただき、これまでで最も多くの方々に見守られる卒園式となりました。ご家族の皆さまや支援者に囲まれ、あたたかく心に残るひとときとなりました。当日は普段とは異なる雰囲気、少し緊張した表情で登壇するお友だちの姿が見られましたが、スーツやスカートなどの正装に身を包んだ姿からは、成長したお兄さん、お姉さんとしての頼もしさが感じられました。式では、園長先生から一人ひとり卒園証書を受け取りました。緊張しながらも、これまでの練習の成果を発揮し、自信をもって臨む姿はとても立派で、子どもたちの成長を実感できる瞬間となりました。  
Report/辻 智枝美



済生会  
しらふじ子ども園

熊本城マラソン

●日時:2月15日(日)

2月15日(日)に開催された「熊本城マラソン」の応援で、年長児が和太鼓を演奏しました。前日まで雨の心配がありましたが、和太鼓を演奏する時には雨も止み、ランナーの方たちを応援することができました。年長児が和太鼓を演奏する姿にランナーの方たちから拍手をいただいたり、ランナーの方たちとハイタッチをすることができたりして子どもたちからも笑顔が見られました。また、この日のために用意した手作りの応援メダルをランナーの方が受け取ってくると、子どもたちの喜んでいる姿が見られ、子どもたちからも「たのしかった!」「いっしょにはりしたい!」という声が聞かれて微笑ましく思いました。今年も沿道で和太鼓を演奏しながら応援するという貴重な経験ができました。  
Report/高島 唯

子供達の演奏にランナーも笑顔で応えてくれました!



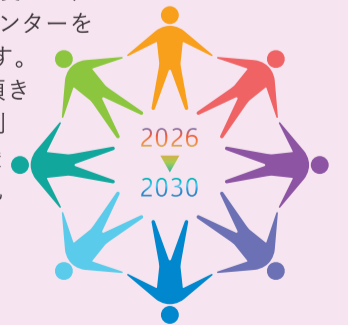
熊本県地域生活  
定着支援センター

スタッフ一同  
頑張っていきます!



センター委託を更新しました!

熊本県地域生活定着支援センターは2010年に開所後、2014年から当法人で県から委託を受け運営しています。委託は5年に1回のプロポーザル方式で更新があり、2026年2月に審査会が開催されました。上手くプレゼンできるだろうか、どのような質問が来るのだろうか、ドキドキしながら臨みましたが、無事、委託更新が認められました。2026年度から2030年度まで、引き続き、当法人でセンターを運営することになります。多くの皆様に支えて頂きながら、県内唯一の刑余者専門の相談支援機関として、職員一丸となって取り組みます。  
Report/瀬崎 倫之介



編集  
後記

なでしこ園 辻

春は別れと出会いの季節ですね。3月は、なでしこ園でも子どもたちや関わってくださった方々との別れがあり、少し寂しさを感じる時期となりました。そして4月、新しい出会いの中で、緊張しつつも期待に胸をふくらませた子どもたちの姿に、自然と前向きな気持ちが広がっていきます。広報誌も次号から新しいメンバーでお届けします。「すまいるん」が皆さまにとって楽しみのひとつとなるよう、これからも心を込めて作っていきたく思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

